



PRESS RELEASE

令和8年1月14日(水)

火を囲み、明日香村の食材に舌鼓♪



平素より国営飛鳥歴史公園の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

国営飛鳥歴史公園では、2月7日(土)に「冬の自然に親しみ愉しむ 焚火と焚火メシ」を開催します。

このイベントは、キトラ古墳周辺地区の森や里山の資源を有効活用する活動の一環として行います。今回は冬の伝統行事「とんど」にも挑戦！森から資材を集め参加者で組み上げます。その他、間伐した木を使った薪割りなどのフィールドワークやスウェーデントーチを使用した明日香村の食材をふんだんに使った焚火メシ作りを行います。

つきましては、ご多忙中のことと存じますが、皆様には是非取材ならびに記事掲載のほど、よろしくお願いたします。

お問合せ先

国営飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター / 広報担当 伊藤・滝・東山
TEL 0744-54-2441 / FAX 0744-54-4633
〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538
<https://www.asuka-park.jp/>



開花情報も掲載

公園 HP

冬の自然に親しみ愉しむ 焚火と焚火メシ



<https://www.asuka-park.jp/event/takibi-mesi-20260207/>



焚き火を囲んでいると、時間の流れ方が、いつもの日常とはどこか違って感じられる。

まずは田んぼ脇の森へ。
焚きつけに使うスギの葉や枯れ枝を集め、その森で伐採された木を、薪にする。

薪割り、薪割り、薪割り。
火の準備は、すでに祈りのはじまりだ。



準備が整ったら、焚き木に点火。
スウェーデントーチにも火を灯す。

明日香の厳選食材を、焚き火で料理。
寒空の下、熱々の鍋には
明日香ビオマルシェの野菜がたっぷり。
羽釜で炊いたごはんは、言うまでもなく極上。
焚き火で炙るスイーツも、もちろん。



腹が満ちたら、田んぼへ移動。
竹と稲藁で組んだ「とんど」に
今年一年の祈りを託そう。

炎とともに、願いは空へ。
火を囲み、食べ、祈る。
そんな一日を、明日香キトラで。



※とんど：竹や稲藁で組んだ、冬の伝統行事。火に一年の願いを託し、家族の健康やしあわせを祈ります。

じゃらん申込 申込締切：2/1

【日時】2月7日(土) 14:30~18:30

【場所】キトラ古墳周辺地区 キトラの田んぼ付近

【参加費】1組：10,000円 ※焚き火メシのお食事代込み ※食材の量は、おとな2名・こども2名程度

【プログラム】▶山に入り素材を集める

▶間伐した木で薪割り

▶スウェーデントーチづくり

▶焚き火メシづくり

▶焚き火と焚き火メシを愉しむ

▶とんどの大きな火を感じる

※雨天時はプログラムを変更して行います。

【持ち物】動きやすい服装、防寒着、飲み物、懐中電灯またはランタン（食事中手元を照らすもの）

※ひと組ごとに焚き火台、スウェーデントーチ、イスなどをご用意いたします。

※マイ食器やマイ焚火台などの持込み歓迎

【定員】10組（1組最大4名）

【協力】ガイド／ミニマルライフ：瀬川健、たるたる農園：樽井一樹

料理／Seed to -：山本あきこ 食材協力／明日香ビオマルシェ